

富士見市鶴瀬地域公民館運営審議会議事録

開催日時	平成28年10月26日(水)午後7時30分～午後9時15分
会場	鶴瀬公民館 いきいき活動室
出席者	瀬戸 篤地区議長、長ヶ原美博委員、山川亜紀子委員、佐野正幸委員
事務局	鶴瀬公民館長、同副館長 (合計6名)
欠席者	なし
会議録確認	瀬戸 篤地区議長
公開・非公開	公開(傍聴人 0名)
会議内容	
<p>○傍聴希望者がいないことを確認。</p> <p>(1) 報告事項</p> <p>①職員体制について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館長から、課業分担表に基づき鶴瀬公民館の事業体制(地域事業・全市事業)、各職員の担当事業などを報告。 ・年度末の委員による公民館事業評価に当っては、可能な範囲で事業に参加すること、担当職員に状況を聴取することなどが確認された。 <p>②平成28年度上半期の事業の特徴点と今後の予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(2)②の内容(今後の公民館事業の取り組みについて)が当該項目と並列の内容であることから、公民館長から併せて報告。 <p>報告内容は、事業名、内容・課題、上半期報告(特徴点)、今後の予定と課題等を記入した資料から説明する。</p> <p>報告事業は、子育てサロン・講座、学校・地域・家庭連携推進懇談会、子どもの居場所づくり支援事業、小学生体験事業、介護関係講座等、第40期鶴瀬学級、パソコン相談室、市民生活講座、第35回つるせ公民館まつり、げんもりかん事業、ホール活用懇談会、サークル公開月間、第43回富士見市子どもフェスティバル、第37期富士見市民大学、平和・憲法啓発事業、障害者の学習機会充実事業、第30回地域・自治シンポジウム、町会等地域行事支援事業、つるせ公民館利用者連合会、地区体育祭援助、文化活動支援事業、リハビリ自主活動支援、公民館だよりの発行、施設維持管理事業、公民館運営審議会全大会、公民館運営審議会地域会議、利用者懇談会、鶴瀬公民館未来づくり懇談会、公の施設連絡調整会議など となる。</p> <p>(2) 協議事項</p> <p>①平成28年度鶴瀬公民館事業評価の取り組みと担当について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館長から、昨年度の事業評価担当表に基づき概要を説明。 ・前期退任した2名のところを新任の2名が担当してはどうかなどの意見が出 	

たが、次回に各委員の希望も加味して決定していくこととなった。
○次回の会議日程を協議：12月16日（金）19：00からとなる。

(質疑・意見等)

- ・終了している事業は何かとの質問。子どもフェスティバルと公民館まつりが終了しているが、他の事業は継続と回答。
- ・事業評価は、一つBがある以外は全てAとなっている。B以下の評価を付けるとなると、よほど内容を知っていないと書けない。
- ・鶴瀬西交流センターフェスティバルでは、子どもが出店している。公民館まつりでも、子どもブースを設けてもよいのではないか。これを機に、地域の小学校との連携が図れる可能性もある。
- ・小学生の頃からナイフを使わせる場面のある事業があってもよいと思う。竹などを提供していただける家庭が地域にはまだある。市民大学の「木とわたしたち」のメンバーに指導してもらえたらよいと思う。
- ・カルタや百人一首に取り組んでいる公民館はないか。
- ・昔県のカルタがあった。富士見では、今は下火。川越では「川越カルタ」があり、今も頑張っている様子。

<公民館長としての意見>

- ・事業評価に関し、見直しの意見があれば率直に出していただいた方がよい。
- ・学校の予定も聞いて、公民館まつりの日程を早めに決めたい。また水谷東公民館では、子どもが多く来ている様子が見える。鶴瀬公民館でも子どもたちにもっと来てほしい思いがある。
- ・子ども対象の事業については、提案の様な取り組みができるとよい。地域特性もあるが、今後工夫をしてみたい。

②今後の公民館事業の取り組みについて

(1) ②の部分で報告済み。

③公の施設予約システム本格稼働の進捗状況について

- ・平成29年4月分から抽選方式を実施予定。その為に、1月から実質的にスタートしていく。また、この抽選方式の説明会を12月7日に予定している。
- ・今は、毎月5日に一斉受付を行っている。現状では、希望が重なることは少ない。抽選方式は、3ヶ月前の15日から月末までがエントリー期間となり、2ヶ月前の1日に結果が分かる。重なったところだけが抽選となる。希望が取れなかったところが、5日に公民館に来館して予約を取り直す形となる。

(質疑・意見等)

- ・公の施設予約システムの評価はどうか。
- ・公民館長：不安を持っている人と便利で良いという人と別れている。高齢者の方は、大変という方が多い。逆に、わざわざ公民館に行かなくても便利という方や公平に取り合えるという方もいる。

(3) その他

①つるせ公民館利用者連合会との定期協議について

- ・各委員からも利用者の皆さんの声を聴くことは良いことだなどと、前向きな意見があったため、今後連合会の会長とも調整していくこととなった。